

竜王東小学校 学校関係者評価書

令和3年 2月26日(金)

竜王東小学校 学校関係者評価委員会作成

学校関係者評価委員会

実施日：令和3年2月26日(金) 午後2時30分～

会場：竜王東小学校 会議室

参加者：(学校関係者評価委員)

学校評議員：佐野泰子，三井弘文，加藤富美子，石田冬子

保護者代表：伊藤 毅 (PTA 会長)，佐藤真理 (PTA 副会長)

千野雄広 (PTA 副会長)

(学校側)

内藤好文 (校長)，横山啓二 (教頭)，中村忠廣 (教務主任)

* 欠席者：清水 勉 (学校評議員)

I 学校側から提案された内容

- ・学校の概要，学校の教育活動について
- ・学校評価の説明及び過年度との比較及び考察

II 協議された主な内容

①学校評価の結果について

- ・教師用・児童用・保護者用アンケート結果と考察
- ・地域や家庭での児童の生活実態について
- ・今後の課題について

②学校教育に関する事項について

- ・新学習指導要領の全面実施，少人数学級等への対応について
- ・GIGA スクールの整備進行状況について
- ・児童の地域での様子について (登下校時の挨拶，通学路の歩き方)

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- ・教職員の自己評価の結果は，ほとんどの項目で肯定的評価 (AまたはB判定) の割合が90%を超えており，評価の平均値も3.0ポイントを超えている。学校経営方針に基づき，学校教育目標の具現化に向けて，教職員の十分な理解のもとに教育活動が行われていると考えられる。

- ・「P D C Aサイクルを生かした教育活動」「危機管理マニュアルの周知」「評価基準と評価方法を明確にした授業の実施」「児童の発達段階に応じたキャリア教育の実施」「地域や保護者との連携推進」等については、更なる改善に努めていくことが望まれる。
- ・児童アンケート，保護者アンケートの結果についても，ほとんどの項目で評価の平均値が3.0ポイントを超えており，学校の教育活動が適正に行われた結果，児童が学校生活を楽しい・充実していると考えており，保護者からも一定の理解を得られていると考えられる。しかしながら保護者の方と学校とのつながりに関する項目や地域との連携については，評価が下がった項目があった。コロナ禍により，学校行事の中止や開催の形の変更で学校での児童の様子を知る機会が減ったり，外部講師等の招聘中止や地域に出かけていく学習の機会が減少したりといったことなどの影響の表れであると考えられる。
- ・昨年度改善傾向が見られた「宿題以外の自主学習への取組」「校外でのあいさつ」について，評価が下がっており，引き続き改善のための努力が求められる。
- ・今後も，児童の健全な成長に向けて学校と保護者，地域とが一体となり，「チーム竜王東小」として，相互の連携をより一層図りながら，協力して子どもたちの指導に当たっていく必要がある。

Ⅱ 特 徴

- ・教職員の自己評価，児童アンケート，保護者アンケートの結果はいずれも甲斐市全体の調査結果とほぼ同様の結果となっている。他の学校と比較しても竜王東小学校では適正な教育活動が行われており，児童や保護者からも一定の評価を得ていると考えられる。
- ・児童が和やかでのびのびしている様子が見られる。保護者と地域が連携し，協力体制ができています。
- ・1学期の後半から始まった縦割活動や運動会への取組，児童会行事の様子から，6年生がリーダーとして自覚をもって活動し，下級生を思いやる気持ちが育っていたり，下級生が上級生を慕っていたりすることがわかる。児童アンケートの「学校が楽しい」「仲の良い友達がいる」「委員会活動・清掃活動にしっかり取り組む」の評価も高くなっている。
- ・学習に関する児童アンケートでは「先生はよく勉強を教えてくれる」「国語・算数の授業の内容がわかる」の評価が上がっている一方で，「人前でしっかりと自分の意見を言うことができる」「授業で分からないことがあったら，先生に聞いている」の項目については評価がやや低い。自分の考えを積極的に表現することが本校の児童の課題であり，教職員の自己評価を見ても，「質問や意見が出てくる授業を行っている」の評価が低めであり，教職員も指導の難しさを感じていることが分かる。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

○学校教育目標の達成状況について

- ・先生方が支障なく教育活動を行うことができているのかを知りたいが、学校教育目標の達成状況が見えづらいとの意見をいただいた。平均値による昨年度との比較と併せて、回答の割合を分析することや記述回答を載せるなど、学校教育目標の達成状況や教職員の声が可視化できるような工夫をしていきたい。

○GIGA スクール構想について

- ・GIGA スクール構想に伴う施設設備における現在の進捗状況について質問が出された。校内のLAN 工事や一人一台端末の配布予定、活用の仕方等について確認した。家庭への持ち帰りにおけるインターネット環境の差などの課題についても話し合われた。

○キャリア教育について

- ・コロナ禍の時代にいる児童について、ただかわいそうとするのではなく、何ができるのかを考える力や前例のない状況に対処する力をつけられる時期にしたいとの意見をいただいた。アンケートでも「将来の夢や希望を持っているか」の項目で、児童・保護者とも低い項目になっていた。新たに導入されたキャリアパスポートを計画的、継続的及び効果的に使用し、キャリア教育の推進を図っていきたい。

○地域での挨拶、登下校について

- ・マスクをつけて、会話を控えるといった今だが、元気に挨拶をする児童が少ない。今年度は児童会のあいさつ運動ができない期間があった。2学期以降に少しずつ取り組み始め、玄関に立ったり校内放送で呼びかけたりしてきた。これからも児童会の取組だけでなく、学級指導や道徳などであいさつの役割や大切さについて指導を継続していきたい。
- ・竜王東小学区は狭い道が多いが、下校時に遊びながら歩いたり横に並んで歩いたり落ち着いた見えない児童が見られるとの声があった。3月には新登校班の編成が行われ、班長の引き継ぎや教職員が付き添っての集団下校など、学年末学年始めの集団下校の指導の際にもきちんと指導していく。

※特記事項 なし

記載責任者（竜王東小学校 学校関係者評価委員） PTA会長 伊藤 毅 印